

絆

vol.5 2019.4

通信 県政報告

春

KIZUNA

三重県議会議員 **木津直樹**
伊賀市選出 自由民主党県議団



地域の課題に全力で取り組んでいます

皆様の力強いご支援で県政の場に送り出していただいていた以来、4年間にわたって変わりないご指導とご鞭撻を賜り、あらためて心からお礼を申しあげる次第です。

この4年の間にも、人口減少と少子高齢化が急速に進行し、将来に備える取り組みがいよいよ急務となってきました。若い世代や高齢者が安心して暮らせる地域社会を築くためには、子育て環境の充実や雇用の

安定を実現しなければなりません。

また、道路、河川など社会基盤整備の充実や、災害に負けない地域をつくる国土強靱化予算の有効活用など、三重県・伊賀市の未来のため、成し遂げなければならない事業は山積しています。

木津直樹は、そうした課題に全力で取り組み、地域社会に大きな実りをもたらす活動を全力で推進しています。



▲1月4日、安倍晋三総理大臣と閣僚の伊勢神宮参拝に随行

木津直樹プロフィール

昭和34年10月30日生まれ 59歳
県立上野商業高等学校卒業

平成15年4月 阿山町議会議員初当選
平成17年3月 伊賀市議会議員初当選
平成27年4月 三重県議会議員初当選

平成27年度

戦略企画雇用経済常任委員会
人口減少対策調査特別委員会

平成28年度

防災県土整備企業常任委員会（副委員長）

平成29年度

教育警察常任委員会（副委員長）
障がい者差別解消条例策定調査特別委員会

平成30年度

教育警察常任委員会（委員長）
障がい者差別解消条例策定調査特別委員会

定数削減を実現し 県議会の信頼回復を

議員定数を51から45に削減する条例案議決結果	削減案に反対の議員 24人		削減案に賛成の議員 23人	
	新政みえ		自由民主党県議団	
	芳野 正英	津村 衛	木津 直樹	中嶋 年規
	廣 耕太郎	杉本 熊野	田中 祐治	青木 謙順
	下野 幸助	藤田 宜三	野口 正	中森 博文
	田中 智也	後藤 健一	石田 成生	前野 和美
	藤根 正典	日置 正信	小林 正人	水谷 隆
	小島 智子	舟橋 裕幸	服部 富男	山本 勝
	濱井 初男	三谷 哲央	津田 健児	
	吉川 新	中村 進一		鷹 山
	自民党	大久保孝栄	奥野 英介	
村林 聡	西場 信行	東 豊		
山本 教和	中川 正美		能 動	
	日本共産党	彦坂 公之	館 直人	
山本 里香	岡野 恵美	長田 隆尚		
	草の根運動いが		公明党	
稲森 稔尚		山内 道明	今井 智広	
	青 峰		大 志	
野村 保夫		倉本 崇弘		
平成30年9月14日採決、 前田剛志議長を除く			新政みえ	
		中瀬古初美		

平成30年9月14日、三重県議会の本会議で議員定数を51から45に削減する条例案が否決されました。平成26年5月に定数削減の条例案を可決しておきながら、みずから制定した条例を一度も執行することなく、再び6増の定数51としたことに県民から厳しい批判が寄せられています。木津直樹は、定数削減を実現し、県議会に県民の信頼を取り戻すための活動に取り組んでいます。



▲昨年9月14日付伊勢新聞 LINE NEWS

白線塗り直しが進んでいます 29年度は伊賀市内約120か所で

平成29年度は道路の白線の塗り直しを推進し、三重県全体で1827か所を施工しました。伊賀市では約120か所、名張市（伊賀市青山地区を含む）では約100か所で塗り直しが終了。平成30年度（1月末時点）には県内1153か所、伊賀市44か所、名張市65か所となっています。

議員定数を削減すれば… もしも定数6減が実現できれば、議会経費は1年間で1億2千万円、4年間で4億8千万円の節約になります。道路の白線は施工費が1キロあたり60万円ですから、1年間に1億2千万円あれば200キロ、4年間では800キロの白線が施工できる計算になります。



▲伊賀市青山羽根地内の白線塗り直し

発行 **木津なおき事務所**

E-mail : kizuna@ict.ne.jp
http://www.kizuna.mie.jp/

facebook



〒518-1322 三重県伊賀市玉瀧3486番地 TEL 0595-42-0550 FAX 0595-42-1201

木津直樹 4年間のおもな活動 (平成27年度～30年度)

木津直樹は平成27年4月に三重県議会議員に初当選し、「信頼と連携の政治」「夢あふれる伊賀づくり」を合言葉に議員活動をつづけています。主要な活動と成果をご紹介します。

教育

伊賀白鳳高校に建築デザイン科

伊賀白鳳高校は伊賀地域の専門高校3校を再編して平成21年4月、総合専門高校として開校しましたが、建築を学べる学科がなく、地元関係団体などから学科新設の要望が強く出されていました。そうした声を受けて県当局に働きかけた結果、平成31年度から建築デザイン科が設けられることになりました。初の入試では定員を上回る受験者が集まり、4月から地域の建築業界の将来を支える若い力が養成されます。



▲地元建設団体とともに伊賀白鳳高校の今後について三重県教育長に申し入れ

災害対策

台風の被害に迅速に対応

平成29年10月、台風21号が伊賀市や周辺地域に大きな被害をもたらし、JR関西本線は加太～中在家信号場間(亀山市)で亀裂や盛土の崩壊が発生。亀山～加茂間の運転を見合わせ、柘植～加茂間の運転再開後も亀山～柘植間20キロは不通のままだったため、川崎二郎代議士とともに被災地調査を実施し、JR西日本に早期復旧を強く要望。学校の始業式に間に合わせるべく、平成30年1月の運転再開にこぎつけていただきました。



▲川崎代議士と台風被害の現地調査

インフラ整備

川上ダムは22年度完成へ

平成30年に本体工事が始まった川上ダムは今年9月に本体コンクリートの打設が開始されますが、2022(H34)年度の事業完了へ向けて国などに強く要望を行いました。ダム工事関係車両は県管理道路7路線を通行しており、国道163号と県道松阪青山線の区画線引き直しなどが進んでいます。国道368号線の4車線化も着々と進行しています。



大江地区カーブミラーの要望完成。



下荒木地区の河川護岸工事を現地調査。道路にはみ出した木の伐採の要望も完了(下)。



観菩提寺線改良に着手

平成30年度補正予算で

平成30年度の補正予算案が3月の県議会でも可決されました。伊賀市関係分では、長く懸案となっていた島ヶ原の観菩提寺線改良へ向け、測量と設計の予算を獲得できました。国道165号線の青山トンネルと中山トンネルは照明灯のLED化が進められます。

TOPIC



懸案だった改良が始まる観菩提寺線



中山トンネルの照明灯がLEDに

伊賀建設事務所平成30年度補正予算配分状況

平成31年2月20日現在の伊賀市分事業の一部を抜粋してご紹介しています。

担当課	予算名	事業名	路河川名	事業箇所	補正額	事業内容
保全課	交付金	停電・節電対策	一般国道165号	青山トンネル	500万円	トンネル照明灯LED化(設計)
保全課	交付金	停電・節電対策	一般国道165号	中山トンネル	2000万円	トンネル照明灯LED化(設計・工事)
道路課	交付金	道路改良事業	観菩提寺線	伊賀市島ヶ原	1000万円	測量、設計
道路課	交付金	耐震対策事業	伊賀青山線(広瀬橋)	伊賀市広瀬～川北	2500万円	耐震対策詳細設計
道路課	交付金	耐震対策事業	伊賀青山線(山神線)	伊賀市奥馬野	2000万円	耐震対策詳細設計
道路課	交付金	耐震対策事業	関大山田線(平松橋)	伊賀市上阿波	200万円	耐震対策詳細設計
流域課	交付金	広域河川改修事業	一級河川木津川	伊賀市上神戸他	3800万円	河道掘削
幹線道路課	交付金	耐震対策事業	一般国道163号	小田高架橋	3000万円	耐震対策詳細設計
幹線道路課	交付金	耐震対策事業	一般国道163号	大橋(下阿波)	2000万円	耐震対策詳細設計